

第4章 市民意識

市民意識については、平成26年11月に実施した「緑に関するアンケート調査」結果の概要を示したものです。

■ アンケート調査の実施状況

○実施時期：平成26年11月

○対象者：18歳以上の市民

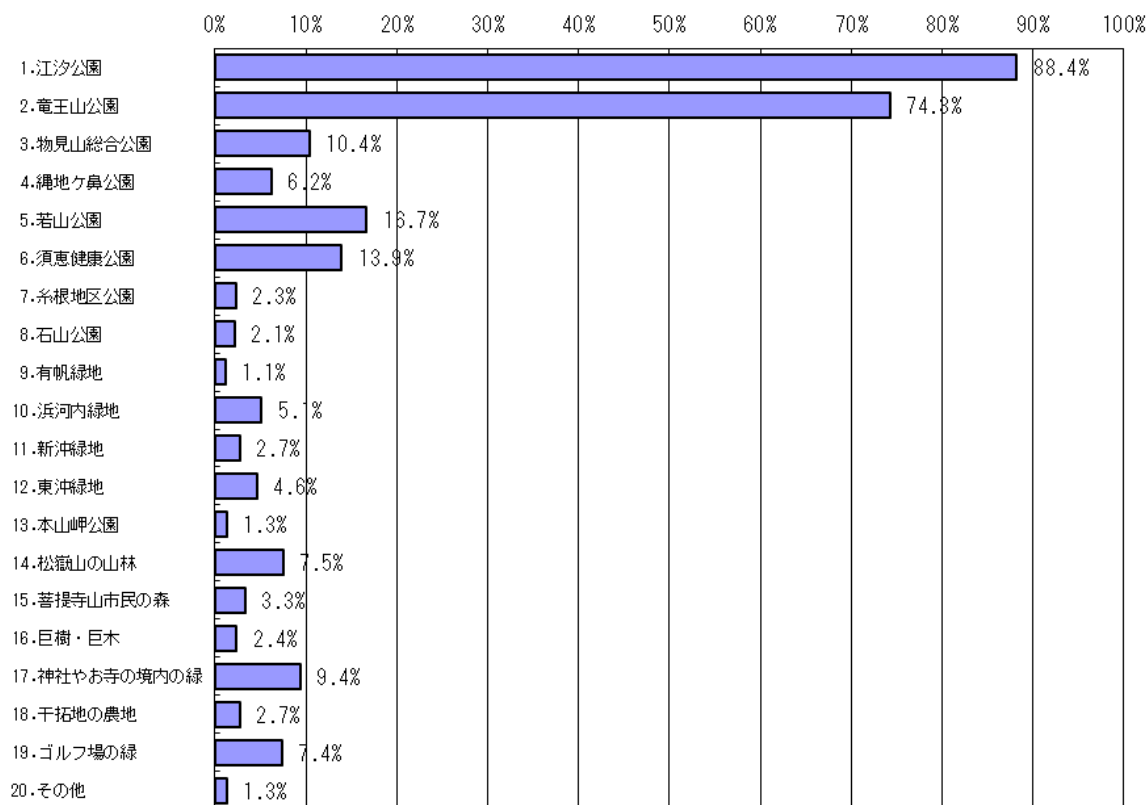
○配布数：2,000

○回収数：846

○回収率：42.3%

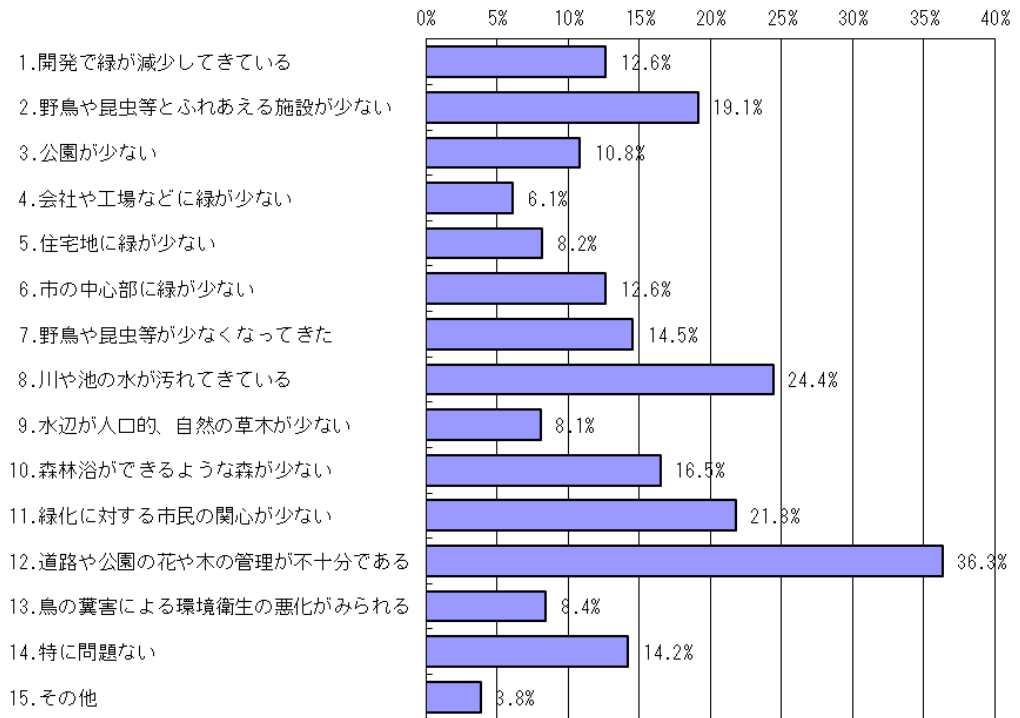
1. 市を代表する緑

市を代表する緑は、「1. 江汐公園」が約88%で最も多く、次いで「2. 竜王山公園」が約74%と、この2つの公園が特に多くなっています。



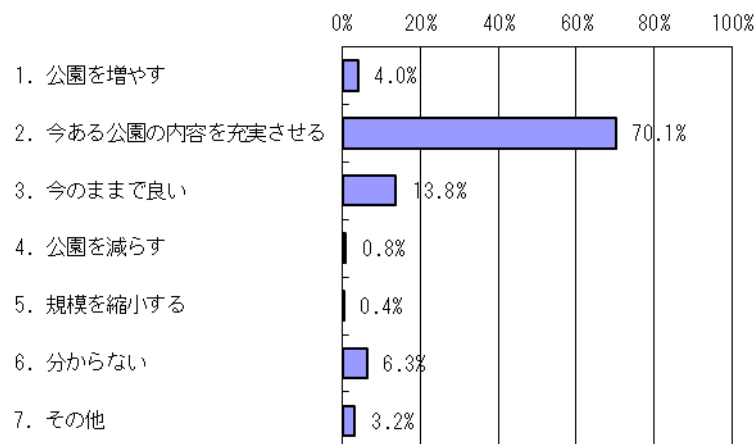
2. 自然環境や緑の現状の問題点

市の自然環境や緑の現状の問題は、「12. 道路や公園の花や木の管理が不十分である」が約36%で最も多く、次いで「8. 川や池の水が汚れてきている」が約24%、「11. 緑化に対する市民の関心が少ない」が約22%、「2. 野鳥や昆虫等とふれあえる施設が少ない」が約19%となっています。



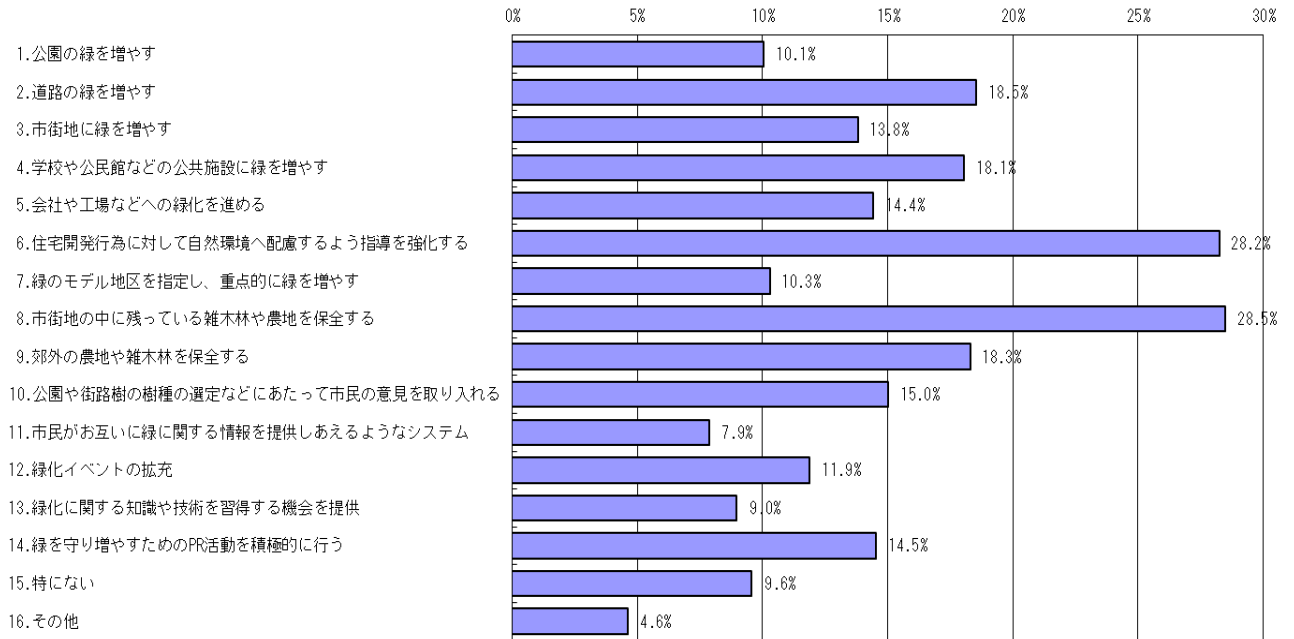
3. 公園の整備方針

公園の整備方針は、「2. 今ある公園の内容を充実させる」が約70%と最も多くなっています。



4. 緑を増やしていく施策

緑を増やしていく施策は、「8. 市街地の中に残っている雑木林や農地を保全する」が約29%、「6. 住宅開発行為に対して自然環境へ配慮するよう指導を強化する」約28%とこれらが最も多くなっています。その他、「2. 道路に緑を増やす」、「4. 学校や公民館などの公共施設に緑を増やす」、「9. 郊外の農地や樹林地を保全する」が18%台であり、自然環境の保全に関する意向が高くなっています。



5. 緑を守り育てていく市民の取組

緑を守り増やしていく市民の取組は、「1. ガーデニングや、生垣などにより自宅の庭の緑を増やしたい」が約45%で最も多く、次いで、「9. 子供に緑の大切さを教えたい」で約29%、「2. ベランダや室内で植木鉢（プランター）などを使って植物を育てたい」で約23%と身近な緑化の取組が多くなっています。

